

## 社会福祉法人 育和会

### 『散歩での発見を楽しむ』

いちごグループの小さな子どもたちと、笛ヶ滝公園や園周辺にお散歩に行くと、自然に囲まれた久万高原町ならではの様々な発見があります。散歩先で、保育教諭が「見て、鳥だよ。」「川の音が聞こえるかな?」「金木犀のいい香りだね。」「松ぼっくりだよ。」など目を合わせながら優しく伝えることで、まだ会話ができない子どもたちでも五感で感じ、表情や声、仕草で答えてくれます。その表情等を保育教諭が読み取り、答えていくことで、子どもたちも嬉しそうな笑顔を見せてくれます。最近では、保育教諭よりも子どもたちが先に鳥の鳴き声に気が付き、教えてくれる姿も見られるようになりました。これからも、自然にたくさん触れていく中で、子ども達との発見をともに喜び、五感を感じながら成長していく姿を大切に、子ども達に素敵な記憶をたくさん残してあげたいです。

(久万こども園 保育教諭 正岡 愛望)



### 『日常生活に彩りを』

新型コロナウイルス感染症のため、今年度は様々な行事が縮小される中、安全第一を考えた上でおひさま保育園では、少しでも子どもが楽しめる場をと行事を再開しました。毎月のたいそう教室の成果を発揮するうんどうかいごっこ・久万高原町にある姉妹園、久万こども園との交流も兼ねての親子遠足、どちらの行事も子どもたちが楽しそうに走ったり、親子で動物を見たり、お弁当を食べたりして微笑ましい姿がたくさん見られました。これからも、新しい生活様式を意識しながら、今出来ることを見つけて子どもたちに色々な経験をさせてあげたいと思っています。

(おひさま保育園 主任 鈴木 奈帆)



『みんなと遠足楽しいな♪』

## 久万こども園(幼保連携型認定こども園)

### 『童謡や絵本の世界を楽しむ』

みかんグループのほとんどの子ども達が2歳を迎えた今、会話が増え、童謡や絵本の世界を楽しめるようになりました。

春は「ちょうちょ」に「ちゅうりっぷ」、夏は「かえるのうた」に「おぼけなんてないさ」、秋は「とんぼのめがね」に「どんぐりころころ」、冬は「ジングルベル」に「おにのパンツ」、手遊びやダンスをしながら歌で季節を追いかけ楽しんでいきます。

絵本や紙芝居も歌がプラスされることで、物語の世界もイメージが広がり盛り上がります。子ども達は絵本を見て「ほく、知ってる!」「○○と一緒に」「これはなんだろう」などわくわく感や喜び、驚きを言葉や身振りで素直に表現してくれます。保育者の話や歌声を耳をすまして吸収していることがよくわかります。そんな子どもたちの心に共感しながら、童謡や絵本の世界を心地よいものになりたいと思っています。



『絵本の世界に夢中!』



『ぐるぐる、ぞいすま♡』



『ひーろいふーとひーろいふーと!』

(保育教諭 小黒 五月)

## NIKO NIKO 館(児童館)

### 『NIKOアートギャラリー』



『はみぢまないよう!!』

今年度はNIKO文化祭に代わり、児童館ジャンボリー「NIKOアートギャラリー」を開催します。期間は12月1日(火)～12月12日(土)児童館開館日の水・木・土曜日となります。

期間中はNIKO NIKO 館館内および園庭にて、児童館・児童クラブの子どもたちのアート作品を展示します。イラストや手芸作品、木工など、子どもたちの豊かな発想で作られた力作が勢ぞろいです。当日来られた方が参加可能な手作りクリスマスオーナメントコーナーも用意しています。

ぜひご来館ください。

(児童厚生員 渡部 梨香)



『アート作品!!』

## 放課後子ども教室

## 【学校・家庭・地域連携推進事業】

### 『花育キッズ』

10月24日(土)放課後子ども教室「自然に親しもう・花と仲良くなろう」のテーマで花育キッズを開催しました。久しぶりの開催とあって楽しみにしていた多くの児童が参加しました。講師に花育・花活プロジェクトえひめの渡部千恵美先生をお招きし、「秋のホウキアレンジ」を行いました。魔女のホウキにスプレーカーネーション、スプレーバラ、ユーカリの葉を飾りハロウィンをイメージした可愛い蜘蛛の巣のモチーフで仕上げました。



『真剣に作っています』



『第1弾集合!!』



『第2弾集合!!』



『はい!!!出来上がり』

## NIKO NIKO クラブ(学童保育)

## Happy House

### 『アスレチック鬼ごっこ』

NIKO NIKO 館に薪ストーブ用の丸太が届きました。いつもならすぐに薪割りをしてしまうのですが、「薪割りする前にこれで遊んでいい?」という子どもたちの声。何をして遊ぶのかと興味津々なスタッフは、子ども達の様子をしばらく見守っていました。

すると丸太をせっせと運んで並べ始め、その丸太の上を渡る遊びが始まりました。ふらふらするけど、



『体幹トレーニング』

スリルがあって楽しい! そのうち、丸太の上を逃げる鬼ごっこに変化し、丸太以外にも



『丸太の上は慎重に…』

踏み板を集めて並べ、アスレチックコースに進化していきました。全身を使うバランス運動は、体幹やバランス感覚が鍛えられ、ケガをしにく



『落ちないように逃げる!』

い運動機能の発達にもつながっているようです。子どもたちは毎日新しいコースを作り、飛んだり跳ねたり走ったり、日が暮れるまで楽しんでいます。(放課後児童支援員 渡部 梨香)

### 『かけがえのない宝物』

日々、子育てに奮闘しているママから「なかなか思い通りに行かない。言うことを聞いてくれない。」

というお話を聞くことが多くあります。子育てって大変なだけ…と感じているママ! 考えてみて下さい!

大変だと感じていても、昨日まで出来なかったこと、例えば寝返りが出来るようになった、歩けるようになった、「ママ」と呼んでくれた…。そんな子どもの成長にハッとさせられ、感動できる場面をママは誰よりも一番先にたくさん見ることが出来ます。子どもが大きくなっても、ずっとずっと続きます。それがママの特権です。そんな子どもの小さな成長は、ママにとってかけがえのない“宝物”です。大切にひとつひとつをママの宝箱に詰めながら、子育てを楽しみましょう。



『上手に寝返りできました!!』



『次はなにしようかな』



『上手につかまり立ち』

(センター長 山内 はづき)

## 家庭教育支援 久万高原 Happy サポート

### 『ママのためのお話会 ～ピアノの生伴奏とともに素敵な読み語り～ 読み語り 相原美紀先生 ピアノ伴奏 橋本栄子先生』

命の大切さや子育てをテーマにしたお話会は、ママたちの間ですっかりお馴染みになりました。「涙腺満開のアレよね!」「そうそう、あのお話会よ!」と、申し込みは早くからいっぱいになりました。今年も心に響くお話を用意していただきました。生まれてくることができなかったお子さんのお話「チューリップちゃん」。相原先生と橋本先生のお知り合いの方の実話でもあり、お二人の思いが込められています。もうすぐ絵本になるそうです。誰もが通る子育ての日常が語られる「2歳の息子がいます」「保育園の帰り道」では、同じ幼い子を持つママたちの共感と涙を誘っていました。

「感動して泣きたい時には思いっきり泣けばよい。そうすれば心が浄化するから。そしてスッキリするから。感情体験はいいですよ。」と、相原先生はおっしゃっています。深まりゆく秋の日の貴重な感情体験となりました。

(子育てサポーター 今井 久美子)



『感動の世界へ誘う素敵な読み語り』



『やさしい笑顔の相原先生と橋本先生』



月	火	水	木	金	土	日
	1 ● ● NIKOアートギャラリー (12日まで)	2 ● たいそう ● パワーキッズ・笛ヶ滝 day ● アロマハンドクリーム作り	3 ● ふれあい制作	4 ● たいそう ● コーラス ● 開館	5 ● ● ●	6 ● ● ●
7 ● ● ママの製作	8 ● 和太鼓	9 ● たいそう・お茶 ● フラダンス・笛ヶ滝 day ● 開館	10 ● ミニふれあい広場 (10:30 ~ 11:00) ● 乳幼児健診	11 ● みるきいらんど ● 新聞あそび	12 ● こっとな・コットン	13 ● ● ●
14 ● ● 開館	15 ● 和太鼓	16 ● たいそう ● 笛ヶ滝 day ● アロマハンドクリーム作り	17 ● ふれあい制作	18 ● コーラス ● 開館	19 ● Cook ドゥドゥル	20 ● ● ●
21 ● ● クリスマス Week	22 ● ●	23 ● たいそう・お茶 ● フラダンス・笛ヶ滝 day ● クリスマス Week	24 ● ミニふれあい広場 (10:30 ~ 11:00)	25 ● みるきいらんど ● クリスマス Week	26 ● ●	27 ● ● ●
28 ● ● 開館	29 ● 年末休み ● 年末休み ● 年末休み ● 年末休み ● 年末休み	30 ● 年末休み ● 年末休み ● 年末休み ● 年末休み ● 年末休み	31 ● 年末休み ● 年末休み ● 年末休み ● 年末休み ● 年末休み	● 久万こども園 ● Happy House ● NIKONIKO 館 ● つどいの広場 ● 保健センター		

## スタッフ紹介



堀 和美

当時2歳の娘が「ありの～ままの～」と毎日のように歌って踊っていたのを思い出します。大きくなった娘と当時の動画を見ながら、アナと雪の女王をみたいです。

佐伯 鮎美

私はトイストーリーやモンスターズインクなどのディズニー映画を子どもと一緒によく見ます。もう一度見たいというよりは何度でもいつまでも見ていたい映画のひとつです。

田中 庸子


沢山あるのですが、「スタンド・バイ・ミー」が見たいです。1980年代のアメリカ映画。線路づたいに歩く四人の少年のシーンと主題歌が印象的な映画です。

『もう一度みたい テレビドラマまたは映画』



**久万こども園**  
幼保連携型認定こども園

〒791-1201  
愛媛県上浮穴郡  
久万高原町久万1447  
TEL:0892-21-0777  
FAX:0892-21-0772  
hoiku@ikuwa.or.jp



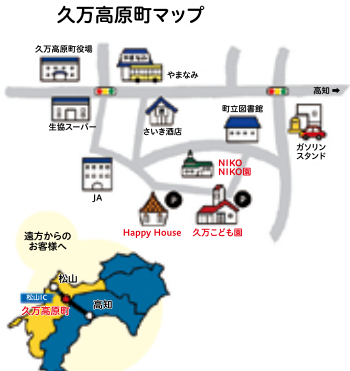
**Happy House**  
地域子育て支援センター

〒791-1201  
愛媛県上浮穴郡  
久万高原町久万1444-5  
TEL:0892-21-3192  
FAX:0892-21-3191  
sien@ikuwa.or.jp



**NIKONIKO 館**  
児童館

〒791-1201  
愛媛県上浮穴郡  
久万高原町久万1457-1  
TEL:0892-21-2335  
FAX:0892-21-3222  
niko@ikuwa.or.jp




**おひさま保育園**  
企業主専型保育園

〒790-0012  
愛媛県松山市湊町  
8丁目120-1  
TEL:089-943-2120  
FAX:089-943-2135  
ohisama\_hoikuen@ja-e-chuo.or.jp

